

第 36 回日本自然災害学会学術講演会に参加しました(2017/9/27-28)

場所：アオーレ長岡（新潟県長岡市）

参加者：佐藤翔輔助教，林晃大助手（東京海上日動寄附研究部門），保田真理プロジェクト講師（東京海上日動寄附研究部門），新家杏奈（B4）

9月27日(水)～28日(木)の2日間、アオーレ長岡（新潟県長岡市）で日本自然災害学会が主催する「第36日本自然災害学会学術講演会」が開催されました。同学会は、その名の通り、自然災害科学の研究の向上と発展につとめるとともに、防災・減災に資することを目的としている学会であり、自然災害に関するあらゆるジャンルのテーマを対象としています。年に1回、学術講演会が行われ、研究発表による情報共有や交流が行われています。津波工学研究室からは、査読セッションで2件、一般セッションで3件、寄附研究部門からは一般セッションで2件の研究発表を行いました。各発表者の講演題目等は次の通りです：

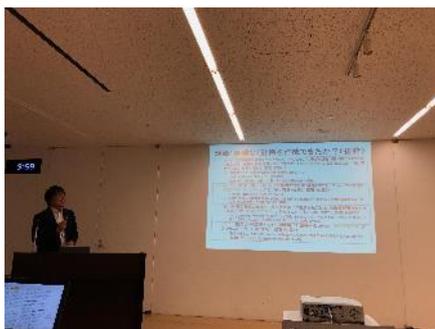
【査読付き論文セッション】

- 佐藤翔輔，今村文彦ら：2016年11月22日福島県沖地震に伴う津波避難の実態：石巻市と亘理町の住民を対象にした調査から
- 山崎麻里子，佐藤翔輔，マリエリザベスら：災害伝承施設に必要な要件の探索的分析—木籠メモリアルパークへの再訪者に対する質的調査をもとに—

【一般セッション】

- 佐藤翔輔，今村文彦ら：効果的かつ無理のない地区防災計画の作成方法—宮城県石巻市と亘理町における実践と評価—
- 新家杏奈，佐藤翔輔，今村文彦ら：東松島市震災復興伝承館の利用実態と利用者ニーズの把握
- 小野寺洋友，佐藤翔輔：気仙沼市立階上中学校における地域と連携した防災教育の実践—真の「未来の防災戦士」の育成を目指して—
- 保田真理，邑本俊亮，サッパシーアナワット，今村文彦：参加者の満足度に注目した避難（防災）訓練設計—仙台市長命ヶ丘連合町内会に於ける訓練満足度調査に着目して—
- 林晃大，山下啓，今村文彦：家屋被害実績に基づく海岸林の津波リスク減災効果に関する検討

著者名は、筆頭者と研究室構成員のみ記載。下線は研究室構成員。



佐藤翔輔助教



林晃大助手



保田真理助手



新家杏奈(B4)

文責：林晃大（寄附研究部門），新家杏奈